

《◎成果物 資料》

未来へつなぐ しが文化活動応援事業

活動番号 0623—0074

活動名称 中嶋康子ソプラノ・リサイタル～愛する あなたへ～

代表者名 中嶋 康子

【活動報告】

中嶋康子ソプラノ・リサイタル～愛する あなたへ～

2022年1月30日（日）

びわ湖ホール 小ホール

14:00 開演

入場料 2500円

ソプラノ 中嶋 康子

ピアノ 船橋 美穂

【感染症対策】

- ・チラシに感染症拡大防止に協力の旨、記載した。
- ・チケットは自由席での販売だったが、チケットナンバーで何番を誰にお渡ししたか管理し、万が一クラスターなどの兆候が見られた折には、お客様に連絡できるよう管理した。
- ・リハーサルは歌手、ピアニスト共に基本的にマスクを着用し、一定の距離を持って行った。
- ・全323席中チケット販売は200までとした。
- ・客席の前3列は歌手の飛沫の可能性を排除するため、着席不可とした。
- ・入場時に検温と手指消毒に協力頂き、座席は他のグループと1席以上空けて着席頂いた。
- ・着席方法については掲示物、また開場後10分おきに影アナウンスをし、客席案内スタッフも配置した。

【文化活動報告】

- ・時代や国にとらわれず、演奏曲目を組んだ。
- ・曲目解説や《対訳詩集》をプログラムに挟み、作曲家や詩の内容理解を促した。
- ・音楽や声楽の素晴らしさを伝え、私にできる限り表現した。また、音楽ホールでの生演奏の価値を示した。

※プログラムに掲載した《曲目解説》、以下参照ください。

プログラムノート

イタリア古典歌曲

イタリア古典歌曲は声楽を志すなら必ず勉強する、いわば入門曲の様な扱いだ。しかしながらそのポテンシャルは非常に高く、芸術性に富んだ作品も数多い。今日広く歌われるイタリア古典歌曲は音楽学者アレッサンドロ・パリゾッティが編曲・編集し、1914年に出版された“Arie antiche”が礎となっている。この楽譜集は17・18世紀のオペラや宗教曲のアリアを集めてまとめられている。オペラの内容や、台本作家など現在も不明なことは多いが、この様に作品の一編でも残っているのは奇跡であろう。

ミルテの花

ヨーロッパで『純潔』を意味するミルテの花は、5～6月にかけて開花する白い小さな花である。香り豊かなこの花を、人々は古くから花嫁の髪飾りやブーケ、結婚式の装飾に使ってきた。シューマンは全26曲からなるこの曲集を『ミルテの花』と名付け、自身の花嫁クララに結婚式前夜（1840年9月12日）に手渡したとされている。「愛する花嫁へ」と書かれたその楽譜は、美しく製本され、ミルテの花で飾られていたとクララは日記に書き記している。シューマンとクララの結婚への道のりは、とても険しいものだったことをクラシック音楽をお好きな方なら一度は耳にされたことがあるだろう。ここで様々な二人のエピソードをご紹介しますのは諦めるが、1840年はシューマン自らが【歌の年】と名付けており、『ミルテの花』以外にも、『リーダークライス』『女の愛と生涯』『詩人の恋』などの歌曲集を含む134曲もの歌曲作品を書き上げた。

日本歌曲

《日本歌曲》の定義は非常に曖昧なものである。明治5年（1872年）に、西洋音楽を義務教育の基礎と定めてから後に創られた、日本語の詩による日本人作曲家の作品を多くこう呼ぶことになっている。

大正時代には『赤い鳥』という児童文芸雑誌の創刊があり、それに付随した曲の創作が盛んに行われた。いわゆる【童謡運動】である。子供の美しい空想や情感を育てるのを目的に、詩と歌が次々と発表された。北原白秋や山田耕筰はこの運動に深く関わり多くの作品を残した。その後、中田喜直や團伊玖磨をはじめ、後世の詩人と作曲家により優れた作品が生まれ続けている。

